

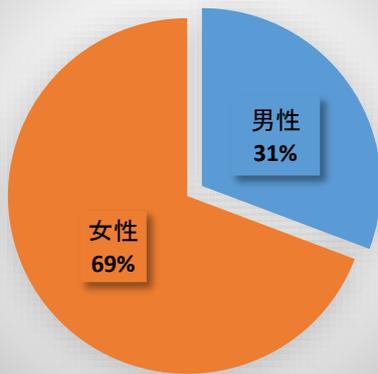
平成30年度災害ボランティアセンター運営訓練内アンケート報告

実施日: 2018年11月18日(日)午前8:30~11:30
報告者: 久御山町災害ボランティアセンター事務局(奥田)

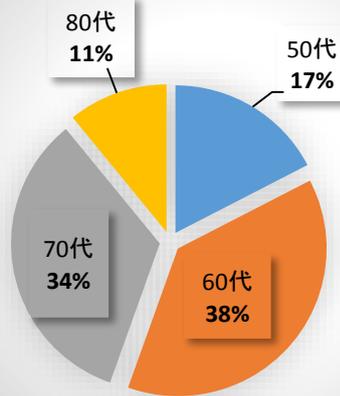
実施日: 平成30年11月18日(日)8:30~11:30
参加者数: スタッフ 26名
(社協理事12名・災害ボランティアセンター運営委員2名・事前登録ボランティア3名・
久御山町社協職員6名・京都府社協職員1名・八幡市社協職員2名)

参加者(マッチング訓練のボランティア)数: 延117名
アンケート回答者数: 116名

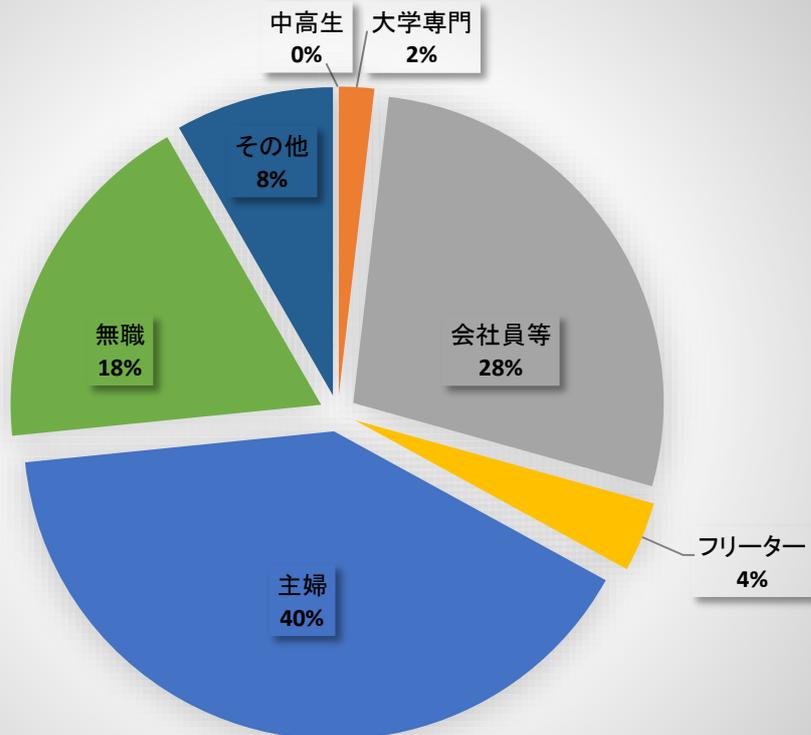
性別



年齢(年代)

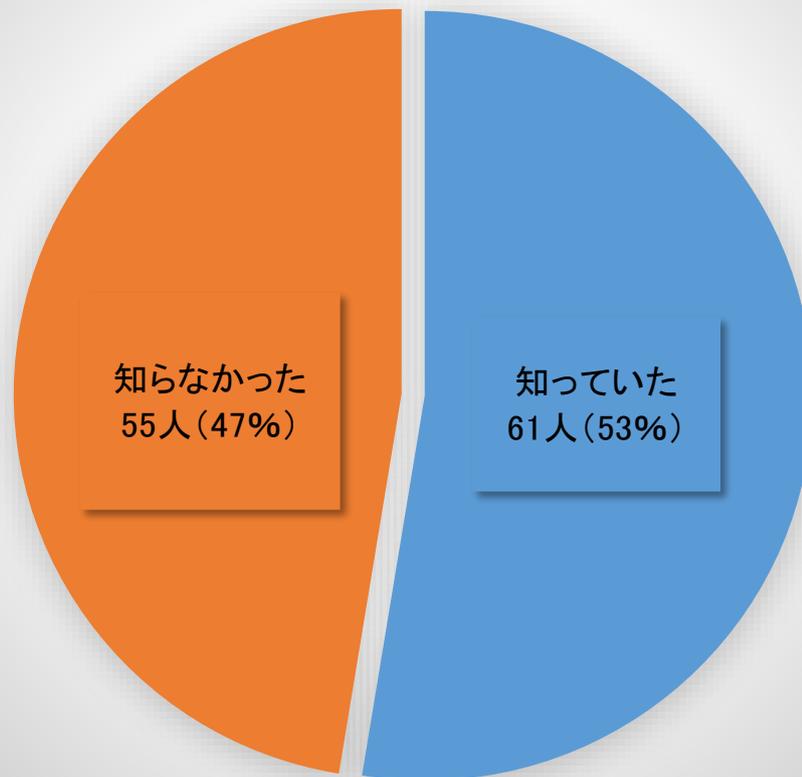


職業



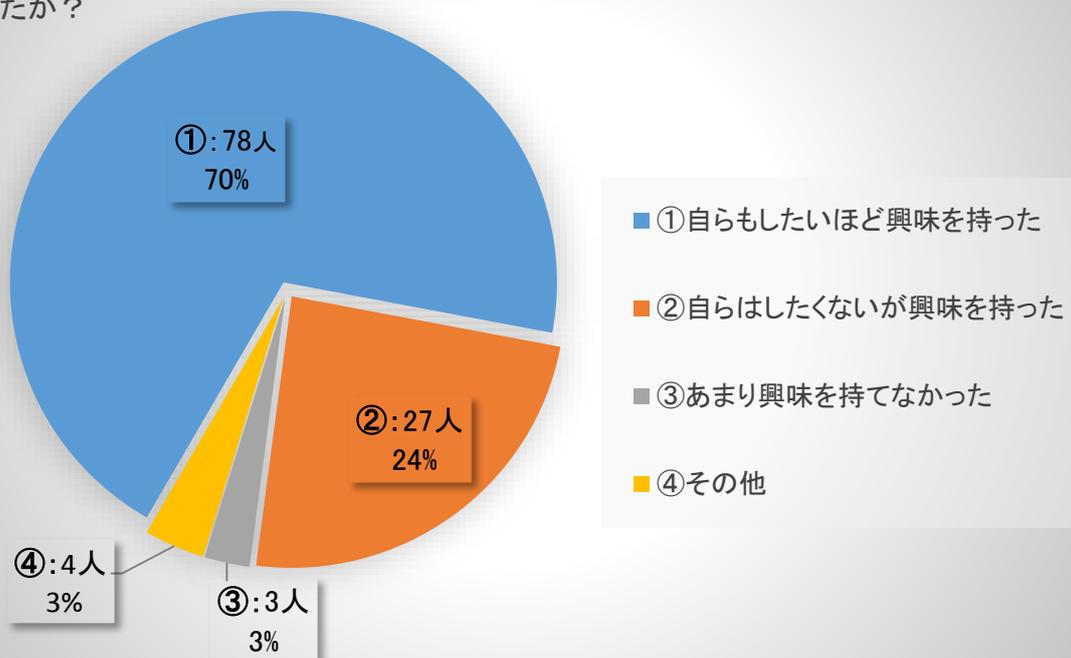
問1

あなたは“災害ボランティアセンター”という組織が社会福祉協議会にあることについてご存知でしたか？



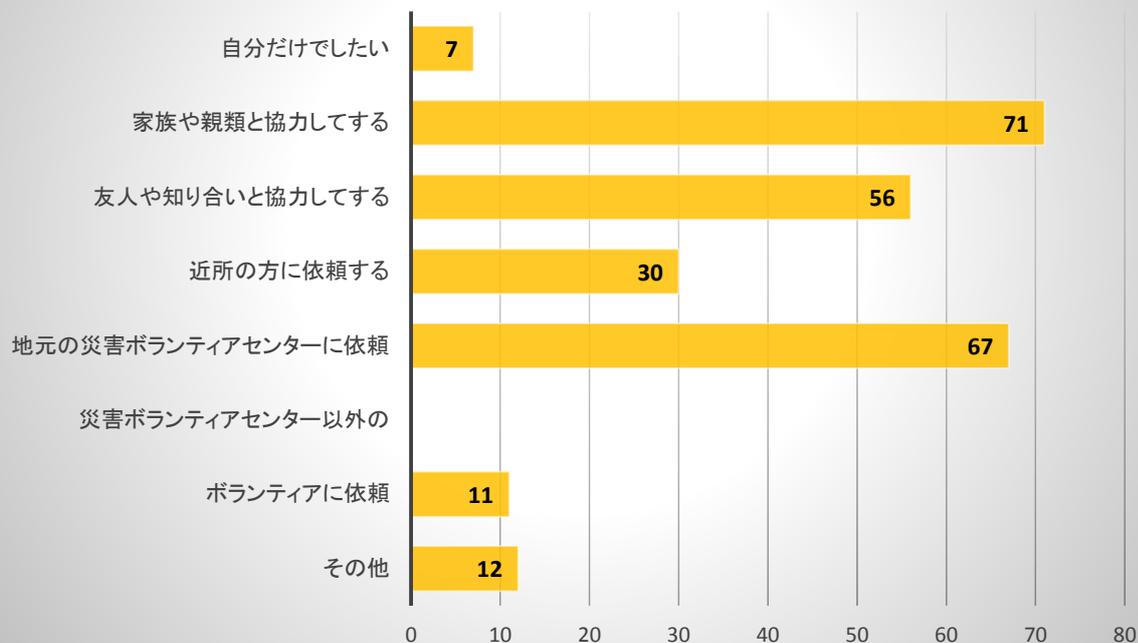
問2

今回の訓練や展示で、災害ボランティアについてどの程度興味を持たれましたか？



問3

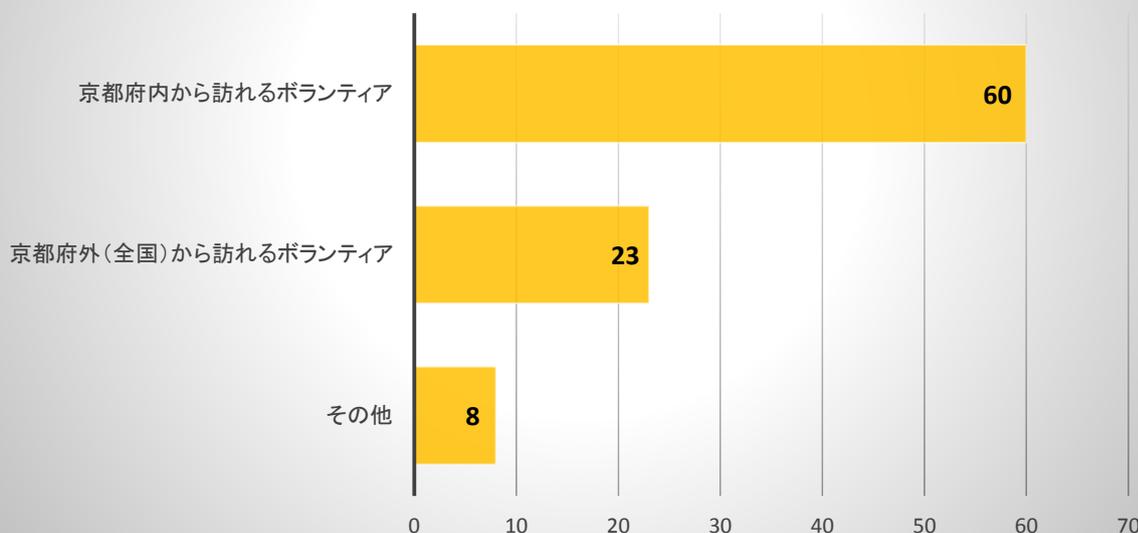
もしあなたの自宅が地震や水害で被災した場合、自宅の復旧作業について誰が行うことが望ましいとお考えですか？ ※複数回答可



問4

問3で”地元の災害VCが募集したボランティアに依頼する””災害VC以外のボランティアに依頼する”に回答した方限定

どのような地域から訪れるボランティアが望ましいとお考えですか？



問5

あなたが「災害ボランティア」「災害ボランティアセンター」について、意見や今後期待したいこと等があれば自由にお書きください。

・自分の安全を確保した上で、自分にできることがあれば積極的にお手伝いしたいです。又、センターには一刻も早い対応をお願いしたいです。

(60代 女性 パート)

・ボランティアのどんな支援が必要か情報が欲しい。(60代 女性 主婦)

・ボランティアの役割分担を知りたい。(60代 女性 主婦)

・協力したいです。(男性 70代 無職)

・多くの機会の場で活動されていることをアピールして下さい。

(女性 50代 会社員等)

・災害時の混乱中に「災害ボランティア」への連絡方法は？連絡先の周知が必要(70代 無職)

・テレビで見ているボランティアの状況やどのように活動されているかが、少しでも分かり良かったと思う。ボランティアに行く時に、各自で行くのではなくてマッチングシステムはとても大事なことだと思います。その時に心得や気をつけることを知って行動できたらいいと思います。(女性 50代 その他)

・まず、自助共助公助と自分や家族でできることからやり始め、ご近所皆さんと協力していきたい。(女性 60代)

・いつもテレビでボランティアの情報を得ていますが、実際このようなシステムになっていたんだと理解しました。(女性 50代 主婦)

・今日初めて知ったので、どういうものなのか詳しく調べたいです。

(女性 50代 その他)

・ボランティアセンターみたいにみんなで助け合うことは大事だと思う。

(男性 70代 無職)

・特に今はありませんが、TV等ではボランティアが頑張っているのは最近よく目にしています。(男性 70代 無職)